

特別展 **金沢文庫の**
肖像

Portraits
of
Kanazawa-Bunko



国宝 四将像
全幅公開

4幅同時展示: 4/14 ~ 5/7

国宝 北条実時像・北条顕時像・金沢貞顕像・金沢貞将像 (いずれも部分) 称名寺

2023年

3月31日(金) ~ 5月21日(日)

主催: 神奈川県立金沢文庫

協力: 横浜市金沢区役所

[開館時間] 9時~16時30分(入館は16時まで)

[休館日] 月曜日(5月1日は開催)

[観覧料] 一般 500円(400円)

20歳未満・学生400円(300円)

65歳以上200円(100円)

高校生100円

中学生以下・障がい者の方は無料

※()内は20名以上の団体料金

《同時開催》

特別公開

新発見・再発見の仏像

—金沢文庫の研究活動から—

菩薩坐像(天平仏)

龍華寺



神奈川県立金沢文庫

Kanagawa Prefectural Kanazawa-Bunko Museum

〒236-0015 神奈川県横浜市金沢区金沢町142 TEL 045-701-9069 FAX 045-788-1060

◆会期中、展示替えがあります(詳しくは当文庫webサイトをご覧ください)。

◆新型コロナウイルス感染症まん延防止にご協力をお願いします。発熱等、体調がすぐれない方はご来館をお控えください。状況に応じて会期や関連行事を変更、中止する場合がございますので、当文庫webサイトをご確認ください。

金沢文庫の肖像

Portraits of Kanazawa Bunko

武州金沢の古刹・称名寺には、鎌倉幕府の要職を務めた金沢北条氏の歴代当主の肖像画（四将像）が伝えられています。金沢北条氏の居館の持仏堂からはじまった称名寺は、北条実時（1224～76）が叡尊（1201～90）に帰依したことから、律の寺として改められました。そのため、極楽寺の忍性（1217～1303）に推挙され、下野葉師寺から開山として迎えられた審海（1229～1304）をはじめ、西大寺流の律僧像も多く伝えられています。本展では、称名寺伝来の肖像を中心に、像主の追善供養や祖師忌などの法会に関する古文書、聖教のほか、ゆかりの袈裟や法具などをあわせてご覧いただけます。



①

②

③

⑦

⑧

⑨

⑩

④

⑤

⑥

- ①重要文化財 審海像（一山一寧贊）鎌倉時代 称名寺（前期展示）
- ②重要文化財 忍性像 鎌倉時代 称名寺（後期展示）
- ③神奈川県指定文化財 元照律師像 室町時代 称名寺
- ④審海坐像 鎌倉時代 称名寺
- ⑤国宝 集七十二家相書 鎌倉時代 称名寺
- ⑥聖徳太子立像（二歳像）鎌倉時代 称名寺
- ⑦神奈川県指定文化財 僧形八幡神坐像 鎌倉時代 称名寺
- ⑧重要文化財 円覚經 称名寺（後期展示）
- ⑨重要文化財 鉞子（審海所用）鎌倉時代 称名寺
- ⑩三国祖师影（部分）鎌倉時代 龍華寺

【関連行事】（事前申込制）

特別講演会

①4月22日（土）「中世肖像画の多様な展開」
米倉 迪夫氏（東京文化財研究所名誉研究員）

金沢文庫月例講座

②4月1日（土）「金沢文庫の肖像展 鑑賞講座」
梅沢 恵（当文庫主任学芸員）

③5月20日（土）「中世律院における絵画の利用と管理」
三輪 眞嗣（当文庫学芸員）

国宝 金沢文庫文書に親しむ講座

④4月16日（日）「金沢文庫の肖像画関係史料を読む」
貫井 裕恵（当文庫学芸員）

*時間 ①は13:30～15:30、②～④は13:30～15:00

*会場 地下大会議室

*定員 各講座60名（応募多数の場合は抽選）

【申込方法】詳細は当文庫webサイトをご覧ください

当文庫webサイト「講座申込フォーム」、または復便はがき（お一人様1講座1通まで）に、講座名（開催日）、住所、氏名、電話番号を明記の上、①は4月6日、②は3月16日、③は5月2日、④は3月30日必着でお申し込みください。

〒236-0015 神奈川県横浜市金沢区金沢町142 神奈川県立金沢文庫
電話 045-701-9069 FAX 045-788-1060 <https://www.pen-kagawa.ed.jp/kanazawabunko/kanazawa.htm>



京急線「金沢文庫」駅東口下車、徒歩12分（品川駅より快特で33分、横浜駅より16分）
シーサイドライン「海の公園南口」駅下車、徒歩10分（JR根岸線「新杉田」駅接続）

神奈川県立金沢文庫

Kanagawa Prefectural Kanazawa-Bunko Museum

同時開催

特別公開 **新発見・再発見の仏像**
—金沢文庫の研究活動から—

次回展示

2023年 5月26日（金）～7月23日（日）

特別展 **社寺明細帳図**—明治13年神奈川県下の神社・寺院の姿—